



イメージキャラクター  
なごみちゃん

社協ワーカーだよりでは、市社協のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が、地域の皆様や関係機関の方々に向けて様々な情報を発信していきます！

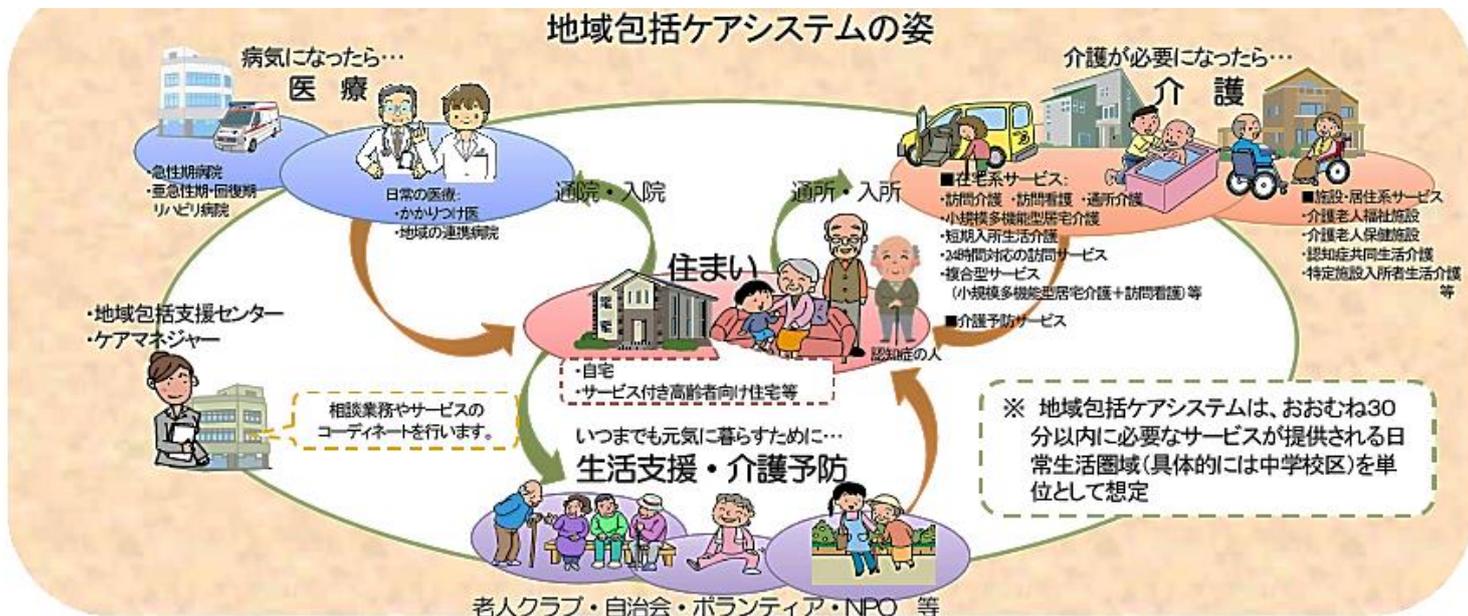
第4号は、

## 地域包括ケア推進室

についてです。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築の実現が必要となっています。

### 地域包括ケアシステムの姿



高松市社会福祉協議会では、平成27年10月から高松市の委託を受け、地域包括ケア推進室に地域の調整役となる生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の日常生活を支援する支え合いの体制づくりを推進するため、各地域へ説明に回らせてもらっています。説明会をさせて頂いた地域では、担当のコーディネーターが地域に伺い、実践されている様々な福祉活動のお話を聞かせて頂いています。

今後は、地域の「ええとこ(強み)」や「ちよつといかんとこ(課題)」、「こんなんしてみたらええんちゃうん(今後重点的に取り組むこと)」などなど、いろいろなことについて話し合える地域福祉ネットワーク会議(国が使っている難しい言葉で言うなら協議体)を開催できるように取り組んでいきます。



### ワーカーのつぶやき

地域での福祉活動を見て回る中で、自由に好きなことを自分たちのペースでしたいとのことで、自主運営されているサロンに出会いました。それぞれの方が得意なことを披露できる場でもありました。お邪魔した時には手作りのお雛様を持ってこられた方がいらっやあって、丁寧な作りと布の色合わせが素敵でした。「サロンえがお 扇町」の名前の通り、今日来て良かったと『えがお』で帰れる「もうひとつのお茶の間」でした。(T.S)

